

本場アメリカからやってくる至高のエンターテインメント。

懐かしの名作からハリウッド最新作まで、映像とともに感動がよみがえる！ **Hollywood Festival Orchestra**

ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ

2023.
1月

11月25日にこのあいきつ文を書いた時には「海外アーティストの来日に際して隔離期間が短縮となり12月にアーティストが来れる。所属演奏家としては6月のバレンボイム以来で本当に楽しみにしていた内容で原稿入れをしたのですが、その3日後オミクロン株の水際対策として翌日の0時にロックダウンを開始するとの政府発表があり、天国から地獄へ突き落された気分になりました。まさに今日12月2日に、指揮者のヴァン・マルティン・デ・ラ・ベニヤが来日して関西フィルの第九、読売日響の定期、前橋汀子さんとのピアニストとしての共演や故イヴリー・ギトリスの1周年となる陸前高田市でのメモリアル公演への出演を行う予定だったのが全てキャンセルとなりました。『第九』やクリスマス公演のシーズンということもあり、あちこちで業界関係者が中止や代替えのアーティストの確保に奔走し悲鳴を上げています。

この他にも来年のプロジェクトのキャンセルが相次いでいますが、私にとっては、会社の経営者としての経済的なダメージもさることながら、精魂込めて準備してきた我々のアーティストの晴れ舞台を、いとも簡単に奪われてしまう精神的なショックのほうが大きく、本来ここではポジティブなことを書かなければと思いついたが、本場ハリウッドの命売り込みをして、決めていただけの喜びや、そのことをアーティストに報告して感謝される時の喜び。その後、お客様がハッピーになるのはどんなプログラムだろうとアーティストと共に試行錯誤して、発表して共感を得られた時の喜び。効率的な旅行の手配が出来た時の喜び。いいチラシが出来た時の喜び。チケットがたくさん売れた時の喜び。主催者が一生懸命準備してくれていることを知った時の喜び。あとどれくらいで来るぞと思う時のワクワク感。もちろんたくさんのお客さん、スタッフ、その苦労が、アーティストが素晴らしい演奏をして大きな拍手をもらって報われる。アーティストやお客様に感謝されて、至上的喜びを得られる。コンサートの成功がアーティストの将来につながっていく…。公演がキャンセルになると、これが一瞬にしてリセットされてしまうのです。これを悲しいと言わずして何を悲しいというのでしょうか。いま声を大にして「バカヤロー」と言いたい。お金がどうこうという気持ちよりも、アーティストのためにやってきた、お客様のために行ってきた営みが成果を出すことなく途端に消えてなくなってしまうことが悔しくて悔しくてなりません。

折しも目にした、月刊誌「致知」の12月号で、難病を克服した経験のある頭木弘樹さんが紹介していた言葉「人生には不幸を通ってくる幸福があるように、落葉のかたには春の芽生えが待っている」(宮城道雄/盲目の箏曲家である「春の海」の作曲家)が、本当に心に染み入ります。落葉の彼方に見る風景が、音楽にあふれた幸せな光景であることを信じ、またそういう景色を、アーティストのために、お客様のために創り出していかなければなりません。

諦念が最大の敵です。どんなに厳しくとも、道を信じ進んで参りたいと思います。

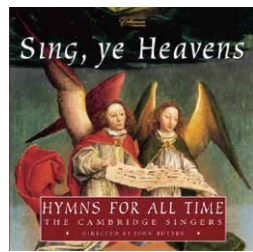


中村聡武

2021年12月2日
株式会社テンポプリモ 代表取締役

クリスマスに聴きたい曲 2021

社員3名がクリスマスにぴったりな楽曲を厳選しました！



CD『Sing, ye Heavens』 Collegium COLCD-126

アメイジング・グレイス

ジョン・ニュートン：作詞、ジョン・ラター：編曲

この機会にぜひお聴きしたいクリスマス・ソングが、このジョン・ラター編曲による「アメイジング・グレイス」です。ハーブ伴奏つきの混声合唱という珍しい編成が特徴のこの編曲。ハーブによる幻想的な伴奏、歌詞と音楽の見事な調和と曲の展開は、胸を打つこと間違いなし。楽譜を持っているのに一度も歌ったことがないので、いつかぜひ歌ってみたい！

(宮嶋)



CD『フィンランド名曲コレクション』 品番：PCCL.00532

粉雪

セリム・バルムグレン：作曲

フィンランドの作曲家、バルムグレンの「3つの小品」の第2曲目です。ちらちらと雪が舞い降りる情景が浮かんでくる美しいピアノ曲。冒頭は空から光が差し込むような神々しさがありますが、徐々に冬の孤独感や哀愁がブレンドされていきます。クリスマス気分を盛り上げるような明るい曲ではありませんが、心に染みわたる1曲です。

(桶家)



CD『HAPPY XMAS』 品番：CDR6627

HAPPY XMAS(War Is Over)

ジョン・レノン：作曲

ジョン・レノンが銃弾に倒れたのが1980年12月8日、早いもので今年で41回目の命日がすぐ目の前です。この惨いニュースは、Beatlesファンのみならず私のようにリアルタイムの世代でも、とてもショッキングな事件でした。

あの時から数年間は12月が来ると、なんだかそのことが思い出されて涙が流れてきたのを覚えています。それと同時にこの曲が聴きたくなります。(経理 牧)

社員のふるさと紹介

● 富山弁 ●

中級編

前回に引き続き、桶家がすぐに使える富山弁を紹介します！

『きときと』

意味：新鮮、活きがいい

富山県はきときな魚がいっぱいです。空港やバスの名前にもなっていますので、要チェック。

『つかえん』

意味：差し支えない

何かを頼まれた時などに使います。「使えない」も「使えん」と言いますので注意しましょう！「これ使っていい？」「つかえんよ！」など。

『だいてやる』

意味：奢ってあげる

食事の席でこれを言えば人気者です！「だいて」は「出して」にあたります。子供がいる場で「あんただいてやって！」と言われると抱っこすればいいのをお金を出せばいいのか、富山県民の私でも迷ってしまいます(笑)

では次回は上級編でお待ちしております！

(桶家)

おすすめ Cafe

日本橋編

今回も、日本橋のお店を紹介します。ヴァンション／シアトルズベストコーヒー日本橋兜町店です。

こちらは店名にシアトルが入るその名の通りアメリカンタイプのカフェなのですが、このお店のランチにはボリュームなクラブハウスサンドやラップサンドなど、色々なヴァリエーションがあります。詳しくはFacebookをチェックされることをお勧めします。(「食べログ」引用)

私が気に入っているのは、ランチのサンドイッチの付け合わせのポテトフライのカットがまっすぐではなくツイストのようでとても食感がいいのです。ただ女性が食べるには少し量が多いかな？とは思いますが。まあ、一度召し上がってみてください。

(経理 牧)

お店の情報

ヴァンション／シアトルズベストコーヒー
日本橋兜町店
goo.gl/maps/5f5CA



は抜けませんね。

コロナ禍でも変わらないのは冬の寒さ。朝晩は特に冷え込むようになりましたね。毎年この時期になると、真冬の寒さをどう乗り越えようかと頭を悩ませています。高校生のときはコートも着ないで、吹雪でもお構いなしに外へ繰り出していましたが、今考えるととても恐ろしいです。おすすめの防寒グッズがあれば是非教えてください。

(桶家)

株式会社テンポプリモ マネジメント・オフィス
Tempo Primo Japan Co., Ltd. Management Office

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-19
銀座三真ビル4階

TEL: 03-3524-1221 FAX: 03-3524-1222
E-mail: info@tempoprimo.co.jp
www.tempoprimo.co.jp 検索

経営理念

株式会社テンポプリモは、全従業員の物心両面の幸福を追求するとともに、3つのA(Artist, Audience, Art)に尽くし、芸術の力で世の中を明るくしてゆくことを経営理念と致します。

Tempo Primo
編集・発行 株式会社テンポプリモ

Recommended Artist Vol.11



ザッツ・アメリカ! 本場のエンタイナーが贈る映画音楽コンサートの決定版!

今月のイチオシアーティスト

ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ

2023年
1月3日
~15日

本場アメリカから凄いオーケストラが再びやってくる!

血沸き肉躍る「インディ・ジョーンズ」、本場のスイング感あふれる「グレン・ミラー物語」、壮大なスケール感に麗しき愛のテーマが織りなす「風と共に去りぬ」…。ハリウッド映画の収録にも参加し、全米をはじめ世界中をツアーして各地完売を果たす人気オーケストラが観客の圧倒的リクエストに応えて2019年以来6回目の来日公演を行います。晴れがましいニューイヤーの時期に、歌唱力抜群のヴォーカリスト、ビリー・キングを迎えて贈る今回も、銀幕の名曲を次々とお届けすると共に、スクリーン上映も一部入って贅沢三昧。2023年、最初にして最高の感動を体験できます!



魅力
その1

アーティスト

～映画音楽の録音にも携わる本場のメンバーに加え、アメリカエンターテインメント界で活躍する指揮者、最高のゲスト歌手が出演!

オーケストラはこれまでに数々のハリウッド映画の録音や演奏に携わってきた本場のメンバー。指揮者のロイド・バトラーも映画音楽に加えてブロードウェイのミュージカルやケルティック・ウーマンの世界ツアーで指揮をするなど一流のミュージシャンです。そしてゲスト出演のビリー・キングもチャカ・カーン等世界的なヴォーカリストと共演を重ねてきた名歌手で、過去の日本ツアー全てに出演し、驚異のハイトーンとお客様を心ゆくまで楽しませるパフォーマンスで会場を大いに盛り上げます。

魅力
その2

プログラム

～古今東西の映画音楽の名曲がズラリ20曲!

コンサートに定期的に来場する層のお客様を意識した選曲。名作「風と共に去りぬ」「慕情」「シャレード」懐かしの名作から、「ロッキー」「インディ・ジョーンズ」「007」等ハリウッド大作、「ミッション・インポッシブル」「ハリーポッター」他最新の映画まで名曲の数々をお届けします。



魅力
その3

映像とコラボ

～名作品のダイジェスト映像が音楽と共に楽しめる!

全体の三分の一のプログラムは実際の映画の映像をダイジェストにして生演奏と共にお贈りします。映像の編集はプロの映画監督が手掛けて本格的に作りこまれており、まるで実際の映画を見終えたような満足感が得られます。次々に現れる名場面を生のオーケストラのサウンドで聴けて贅沢なことこの上ありません。



魅力
その4

スペシャル・ゲスト

～これまでに人気歌手がゲスト出演!

過去のツアーでは渡辺美里、森山良子、KOKIA、綾戸千恵、大橋純子など人気歌手が共演しています。次回のゲストはまもなく発表されます。あっと驚くスターが登場しそうです!

プログラム

懐かしの名曲からハリウッド最新作
ゲストのヒットソングまでカバー!

懐かしの名作

風と共に去りぬ/ジェームズ・ボンドメドレー/グレン・ミラー物語

ハリウッド大作

ロッキー/タイタニック/インディ・ジョーンズ/ミッション・インポッシブル

珠玉の名歌曲

アンジェインド・メロディ…ゴーストのテーマより/スタンド・バイ・ミー/慕情

オードリー・ヘップバーン特集

シャレード/マイ・フェア・レディ/ローマの休日

以上を中心として、名画名曲のプログラムをお届けします。

(宮嶋)

巻でした。個人的には、今日の演奏会の中では特に後半の演奏に、非常に感動しました。アンコール前に、モナさんから、コロナ禍での生活や待機期間中にドイツにいる祖父が亡くなったことなど、今回の演奏会に対する思いを涙ながらに語られ、モナさん自身にとっても、今日のリサイタルに対して様々な思いがあったのではと感じると同時に、それが今日の演奏にはこもっていたように改めて思いました。客席は市松模様で販売され、ほぼ完売。そして演奏中もお客様全員が集中して演奏を聴いている空気に、改めて生の演奏会の素晴らしさを体感しました。11月に入り、外国人の入国について緩和が始まり、少しずつ再開されることに期待していた矢先、先日のおミクロン株に関連した入国停止措置の発表があり、大きく状況が変わってしまいました。しかし、このような素晴らしい演奏の経験が、お客様をまた演奏会に戻すことに繋がれば、と願うばかりです。

特報! バレンボイム指揮シュターツカペレ・ベルリン来日決定 2022年度下半期—23年度 ラインナップ・ダイジェスト



シュターツカペレ・ベルリン



エスメ弦楽四重奏団



ザ・キングズ・シンガーズ

2022年度下半期のラインナップに加えて、2023年のラインナップの速報をお届けします。オーケストラは12月に**ダニエル・バレンボイム指揮シュターツカペレ・ベルリン(ベルリン国立歌劇場管弦楽団)**の6年ぶりの来日が決定! 何とサントリイホールでスラームスの交響曲全曲演奏会が2日に渡って行われます。その他、9月に**ポーランド国立放送交響楽団**の20年ぶりの来日ではシヨバンコンクール semifinal リストで人気大沸騰の**角野準斗**が初の海外オケとのツア。11月にはヨーロッパで大絶賛を博している**アンドリュ・マンゼ**の指揮による**北ドイツ放送フィルハーモニー交響楽団(共演:ゲルハルト・オピッツ)**のオール・ベートーヴェン・プログラムが予定されています。今年も日本のファンに元氣な姿を見せてくれる巨匠オピッツ

の協奏曲5番「皇帝」は決して聴き逃せません。エンターテインメントでは2023年1月に**ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ(指揮:ロイド・バトラー)**。これまでのツアーでは映画音楽の名曲をズラリ20曲並べる魅力のプログラムで各地完売が続出しています。オーケストラはハリウッド映画のレコーディングに参加する本場のメンバーで構成されており、七色の声を持つ名歌手**ビリー・キング**がゲスト出演するほか、実際の映画のダイジェストも音楽と共にスクリーンで映し出されるなど贅沢の極み。その他10月には世界最高の女声合唱団と名高い**チエコ少女合唱団<イトロ>**、11月の**エスメ弦楽四重奏団**、12月の**ザ・キングズ・シンガーズ**、2023年2月は指揮者の**ヴァレリー・ポリャンスキー**、また年度が代わった4月には**フランス・オーヴェルニュ交響楽団(指揮:ヴァイオリン・トマス・ツェートマイヤー)**や7月の**ベルリン交響楽団(指揮:ハンスイェルク・シェレンベルガー)**等世界的なアーティストの来日が続いて日本の楽壇を大いに賑わせます!

今後の弊社企画

2022-23年度

オーケストラ

2022年9月	ポーランド国立放送交響楽団 (指揮:マリン・オルソップ、ピアノ:角野隼斗)
11月	NDR北ドイツ放送フィルハーモニー交響楽団 (指揮:アンドリュ・マンゼ、ピアノ:ゲルハルト・オピッツ)
12月	シュターツカペレ・ベルリン(ベルリン国立歌劇場管弦楽団) (指揮:ダニエル・バレンボイム)
2023年4月	フランス国立オーヴェルニュ交響楽団 ※調整中(指揮:ヴァイオリン:トマス・ツェートマイヤー)
7月	ベルリン交響楽団 ※調整中(指揮:ハンスイェルク・シェレンベルガー)

エンターテインメント

2022年7月	トリニティ・アイリッシュ・ダンス
2023年1月	ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ (指揮:ロイド・バトラー/ヴォーカル:ビリー・キング)

室内楽・合唱

2022年10月	チエコ少女合唱団<イトロ> (指揮:イジー・スコバル)
11月	エスメ弦楽四重奏団
12月	ザ・キングズ・シンガーズ

指揮・ソロ

2023年2月	ヴァレリー・ポリャンスキー(指揮)
6-7月 調整中	ジャスミン・チェイ(フルート) ヴァハン・マルディロシアン(指揮・ピアノ) ホセ・セレプリエール(指揮) アンドリュ・マンゼ(指揮) マリン・オルソップ(指揮) マイケル・シール(指揮) ジュリアン・ラクリン(指揮・ヴァイオリン) ランドル・グーズビー(ヴァイオリン) ドミトリー・マスレーエフ(ピアノ)

邦人企画

2022年	
5,9,11月 通年	坂東玉三郎・お話と素踊りの公演 言の葉コンサート「尾上松也・竜馬がゆく」 デーモン閣下が贈る能楽公演「幽玄悪魔」 假屋崎省吾×横山幸雄 「ピアノと花の華麗なる世界」 横浜シンフォニエッタ(指揮:山田和樹) 川島成道ヴァイオリン/リサイタル みんなのうたコンサート

Concert Report

コンサートレポート



モナ・飛鳥 ピアノ・リサイタル
武蔵野市民文化会館 大ホール
2021年11月14日(日)

テンポブリモとしては、バレンボイム以来、今回久しぶりの外国人アーティストによる公演となりました。本来はミュンヘン交響楽団のツアーがこの時期に予定されていたが、コロナ禍により来日を断念。しかし、藍インターナショナルの協力のもと、ソリストを務める予定だったモナさんによるリサイタル公演が、武蔵野市民文化会館でのみ実現しました。

プログラムは、前半にモーツァルトのロンドとメヌエット、そしてピアノ・ソナタの第12番。後半はショパンのノクターンとリストの「巡礼の年」より補遺「ヴェネツィアとナポリ」。モーツァルトやリストの曲は、録音も発売されています。

前半のモーツァルトは、短調の曲も重々しすぎず、個人的にはモーツァルトにしては少し濃すぎるかなと感じることもありましたが、それでも、すっきりとしたタッチも印象的で、ピアノ・ソナタ12番などは楽章ごとのキャラクターに合わせて演奏するのは見事でした。

後半のショパンのノクターン、そしてリストの「巡礼の年」は、心をつつ本当に素晴らしい演奏でした! ショパンの甘い世界を曲ごとに見事に弾きわけ、そしてリストの超絶技巧の数々、速弾きや激しい跳躍などはまさに圧